

# ProntectDrive

## バージョン 8.5.0 - リリース・ノート

---

本書では、ProtectDrive のリリースに関する情報、補足事項および現状での問題点について説明します。

### 製品の概要

ProtectDrive は、デスクトップまたはラップトップ PC を保護する SafeNet 社の暗号化ソフトウェアです。ProtectDrive は、利用中は完全に透過的に動作するため、ユーザに暗号化に関する知識は必要ありません。

ProtectDrive をインストールすると、有効なユーザ名とパスワードを入力するか、またはトークンと PIN を使用してログオンしない限り PC にアクセスできないようになります。このログオン情報の機密が保たれている限り、権限のない人物が PC にアクセスすることはできません。システムの盗難や紛失の場合でも、ハードディスクに保存された情報は暗号化されているため、セキュリティが保たれます。

### 本バージョンの情報

#### バージョン v8.5.0 での新機能

- Windows XP SP3 および Vista SP1 のサポート
- プレブート認証の 32bit モードのサポート
- SafeNet iKey 400 および SafeNet SC400 のサポート
- C: ドライブ以外へのインストールをサポート

#### リリース・コンポーネント

ProtectDrive は、Windows 2000、XP、Server 2003 および Vista をサポートします。

#### サーバ - *Clinet Manager* がインストール可能なサーバ

- Microsoft Windows Server 2003, Service Pack 2
- Microsoft Windows Server 2003 R2, Service Pack 2

ProtectDrive のサーバ・パッケージをインストールするために、ライセンスは必要ありません。

## クライアント

ProtectDrive のクライアントは、下記のオペレーティング・システムにインストールすることが可能です。

- Windows 2000 Pro, Service Pack 4
- Windows XP Home, Service Pack 3
- Windows XP Pro, Service Pack 3
- Windows Vista - 32 bit editions, Service Pack 1

ProtectDrive では、FAT16、FAT32、NTFS4 および NTFS5 ファイルシステムをサポートします。

---

**メモ：** ProtectDrive の復旧ツールでは、フロッピーもしくは CD-ROM での起動が必要になります。従って、CD-ROM や SCSI などの特別ドライバが起動時に必要な場合には、予め起動してハードディスクが読み込めることを確認してください。

---

## 主なサポート内容

- ProtectDrive のプレブート認証 (PBA) は、レガシータイプの 16bit モードから 32bit モードのサポートに変更となりました。これにより特にセキュリティ、インストール、およびユーザーインタフェースに関して PBA を改良しました。これにより、複数のトークンおよびスマートカードをサポートすることが可能となりました。
- ProtectDrive は、USB 認証トークン SafeNet iKey 4000 とスマートカード SC400 をサポートしました。
- ProtectDrive は、C: ドライブ以外への ProtectDrive のインストールをサポートしました。

## 注意事項

### マルチブート・システムのサポート

- ProtectDrive v8.5 では、マルチブート・システムはサポートしていません。

### 共通鍵でのプリブート認証

- 共通鍵による iKey 1000 でのトークン認証の場合には、シングル・サイン・オンは動作しません。

### 復旧ディスク鍵の保存

- ProtectDrive v8.5 では、障害が発生した場合に、ディスクの復号化および緊急パスワードの発行のために、復旧ディスク鍵を生成する必要があります。復旧ディスク鍵の生成には、backup.exe によるバックアップ・ファイルの取得が必ず必要となります。ディスクの暗号化終了後に必ず backup.exe でバックアップ・ファイルを取得してください。詳細は、『管理者ガイド』マニュアルをご確認ください。

### ウイルス対策ソフトとの共存に関して

- ウイルス対策ソフトウェアが原因で、ProtectDrive のインストールに失敗する場合があります。これは、ウイルス対策ソフトウェアが、ProtectDrive のシステムフォルダー C:\SECURDSK へのアクセスを不正なアクセスとして認識するためです。ProtectDrive のインストール中は、ウイルス対策ソフトウェアを停止してください。

### インストール前のご注意

- ProtectDrive をインストールもしくはアップグレードする前に、必ず Windows 標準ツールの 'chkdisk /f' でのディスクチェックと 'Windows Defrag' でのディスクの再配置を必ず行ってください。

### レガシー USB サポートのパソコンへの対応

- パソコンがレガシーUSBをサポートしている場合に、USB 接続のスマートカードもしくは認証トークンのプリブート認証が失敗することがあります。BIOS の設定で、レガシー USB の設定を OFF にしてください。

### 本リリースでのアップグレードでの注意事項

ProtectDrive v8.5 では、ProtectDrive v7.2.3、v8.1.1、v8.2 (v7.3 を除く) からのアップグレードをサポートしています。既に暗号化されたハードディスクなども復号化することなくアップグレードを実行することが可能となっています。

- ProtectDrive v8.1 以降では、v7.2.3 のシステム・エリア（領域）のみの暗号化は対応していません。したがって、システム・エリアのみの暗号化を行っている場合のアップグレードでは、一旦システム・エリアの復号化を実行して、インストールを実行してください。
- ProtectDrive v8.1 以降では、v7.2.3 の独自のネットワーク・インストールではなく、Active Directory のグループ ポリシー オブジェクトからのリモート・インストールが実行可能となっています。詳細は、ProtectDrive v8.5 の『管理者ガイド』マニュアルをご確認ください。

## 評価ライセンスに関して

- ・ 評価ライセンスの情報の表示で、“ライセンス開始日”が *Mon Jan 01 00:00:00 2007* と表示されますが、これはインストールした日時ではなく、ライセンスが発行された日時となります。したがって、30 日の評価期間は、インストールした日時を必ず記録して、管理してください。

## シングル・サイン・オンの利用に関して

シングル・サイン・オンが動作しない理由としては、他製品の GINA が動作している可能性があります。もし、他社製の GINA を使用する場合には、ProtectDrive を先にインストールすることで対応可能です。また、ProtectDrive の GINA を調整することも可能です。

Windows のレジストリの知識が十分で、他社製の GINA の情報が明確であれば、GINA の設定を行うことが可能です。

---

**メモ：** ただし、レジストリを破壊したりすると Windows が起動しないこともあります。このような場合には、セーフモードで Windows を起動してください。レジストリを変更する場合には、必ずバックアップを行ってください。

---

1. HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon\GinaDLL を確認してください。GinaDLL の値は、pcvgina.dll であるべきです (ProtectDrive GINA)。指定されている値のファイルが、正しい場所に存在するか確認してください。
2. HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Eracom Technologies Australia Pty. Ltd.\ProtectDrive を確認してください。もし、他社製の GINA をインストールしていないのであれば、ChainedGinag が存在しません。もし、他社製の GINA がインストールされているのであれば、ChainedGinag にそのパスを正しく設定してください。

---

**メモ：** なお、HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon\GinaDLL のキーを削除すれば、Microsoft Windows の標準 GINA が起動されます。

---

## トークンのサポートに関して

ProtectDrive では、プレブート認証で二要素認証を可能とするスマートカードや USB 認証トークンでの認証をサポートしています。以下に ProtectDrive v8.5 でサポートされているそれぞれのトークンを記載します。

なお、ProtectDrive では、CCID 互換のスマートカード・リーダーがサポートされていますが、下記に記述されている USB および PCMCIA 接続のスマートカード・リーダーは、弊社で検証したものです。

### USB

- DataKey DKR 630 - GemPC430 (max 1024 bits)
- DataKey DKR 631 - GemPC USB
- DataKey DKR 731 - OmniKey CardMan 3121 (max 1024 bits)
- DataKey DKR 830 - SCR 331
- Precise 200MC Bio Keyboard (プレブート認証での指紋認証は未サポート)
- Precise 250MC Bio Keyboard (プレブート認証での指紋認証は未サポート)

### サポートしているスマートカードと USB トークンの一覧

製品	必要なソフトウェア
SafeNet Borderless Security Smart Card 330 - FIPS, Non FIPS, and G3	<b>SafeNet CIP Utilities</b> : Borderless Security PK 7.1.1_6 以降 1024、2048 ビット RSA キーのサポート
SafeNet Borderless Security iKey 2032 および iKey 4000	<b>SafeNet CIP Utilities</b> : Borderless Security PK 7.1.1_6 以降 1024、2048 ビット RSA キーのサポート
SafeNet Borderless Security iKey 1000、iKey 1032	認証には必要なし。 別途 PIN の変更には、iKey 1000 SDK v4.0 以降が必要
Aladdin eToken Pro 16k, 32k, 64k and NG-OTP	Cryptographic Provider RTE 3.65 (4.5 for Vista) 1024 RSA キーのサポート
Aladdin Smart card 4.2	Cryptographic Provider RTE 3.65 (4.5 for Vista) 2048 RSA キーのサポート
Siemens CardOS v4.3b	Siemens AG HiPath Scurity Card API V3.0 B
RSA SecurId 5100	RSA Authenticator Utility
その他のスマートカード : <ul style="list-style-type: none"> <li>• Axalto Access</li> <li>• Schlumberger Access</li> <li>• Oberarthur</li> <li>• Gemplus</li> <li>• Gemalto</li> <li>• Nexus</li> </ul>	

## リムーバブル・メディアのサポート

下記に ProtectDrive v8.5 をインストールして、弊社で暗号化および復号化の検証を行ったリムーバブル・メディアを記載します。特殊な MBR、パーティションおよび他社製品で暗号化されたメディアは、ProtectDrive では利用することはできません。

また、ProtectDrive v8.5 では、USB v1.0 および USB v2.0 のリムーバブル装置と USB ハードディスクをサポートしています。弊社で暗号化および復号化の検証を行ったものも以下に記載します。

### 検証済の USB リムーバブル装置

- Crucial Gizmo 256MB
- Crucial Gizmo Overdrive 512MB (ソフトウェアなし)
- Edge DiscGO 128MB
- Imation Clip Flask Drive1GB
- Imation Flash Wristband 256MB
- Iomega Micro Mini 512MB
- Kingston DataTraveler mini fun 256MB
- Kingston DataTraveler 256MB
- Kingston U3 DataTraveler 1GB (U3 パスワード認証なし)
- Lexar Jump Drive Elite 128MB
- Lexar Jump Drive Secure 1GB
- Memorex TravelDrive 256MB
- PNY Attache 128MB
- PNY Attache 512MB
- SafeNet 32MB
- SanDisk Cruzer Freedom 256MB
- SanDisk Cruzer Micro U3 1GB (U3 パスワード認証なし)
- SimpleTech Bonzai Xpress 128MB
- Sony MicroVault 512MB
- Sony MicroVault BioMetric 512MB
- Sony POCKETBIT USM 128MB (指紋認証なし)
- Sony POCKETBIT USM-J 128MB, 256MB, 512MB, 1GB, 2GB, 4GB, 8GB
- Verbatim Store 'n' Go 128MB
- Viking 256MB
- Viking Interworks 1GB
- Generic 2.0 USB hard drives

## パソコンのサポート

下記に ProtectDrive v8.5 をインストールして、弊社で暗号化および復号化の検証を行ったパソコンを記載します。また、ProtectDrive v8.5 では、Microsoft 社より認定されている Windows 2000、XP および Vista が動作するパソコンをサポートしています。

### 動作検証内容

1. パソコンの標準オペレーティングシステムのインストール（付属の CD を利用）
2. Microsoft Windows の CHKDISK の実行
3. ProtectDrive v8.2 のインストール
4. C: ドライブの暗号化（AES 256）
5. 再起動後、Microsoft Windows の CHKDISK および DEFLAG の実行
6. 再起動後、iKey 1000 用の共通鍵発行および再起動してプレブート認証の検証
7. C: ドライブの復号化
8. 再起動後、ProtectDrive のアンインストール
9. 正常に再起動することを確認

### 検証済のパソコン

下記の検証は、日本語環境での検証機器となります。

- 富士通 FMV-C8200 (FMVNC1DC23)
- 東芝 SatelliteJ40 (PSJ401HL5SR1K)
- 東芝 SatelliteJ50 (PSJ501JL5SR1K)
- 東芝 SatelliteJ60 (PSJ6020DXSRGKW)
- 東芝 SatelliteT20 (PST201MC5N71K)
- 東芝 PORTEGE 2010 (PP201Z-00GPP)
- 東芝 SS 2110 (PP21110L2HGP)

---

**メモ：** 東芝 SS2110 の付属の CD でインストールした場合には、必ず Windows Installer v3.1 を Windows update からインストールしてください。

---

- 東芝 SS S30 (PPS301CSPS6UK)
- 東芝 SS S21 (PPS2112L2J64K)
- 東芝 SS M35 (PPM351RDPSSTK)
- NEC VersaProNX (PC-VY16MEFE1EHX)
- NEC VersaProR (PC-VY17FRFEJEHU)

---

**メモ：** 上記の NEC VersaProNX および VersaProR では、プレブート認証に iKey 1000 は利用できません。これは、BIOS レベルで iKey 1000 を認識できないためです。

---

- NEC VersaProNX (PC-VY21AWZE1)

- NEC VersaProNX (PC-VY22FAGEX)
- NEC VersaProNX (PC-VY17FLVEHWLR)
- NEC VersaProNX (PC-VY17FLVEX)
- NEC VersaProNX (PC-VY12FBHEX)
- 松下電器 Let'sNoteProY2 (CF-Y2FW7AXS)
- 松下電器 Let'sNoteProY4 (CF-Y4JW8AXS)
- 松下電器 Let'sNoteProY5 (CF-Y5LW4AXS)
- 松下電器 Let'sNoteProT5 (CF-T5KW9AXS)
- 松下電器 Let'sNoteProT2 (CF-T2FW1AXS)
- IBM ThinkPad X23 (TYPE 2662)
- IBM ThinkPad X40 (TYPE 2371)
- IBM ThinkPad T60 (TYPE 2007)



## 本リリースでの既知の問題点

- プレブート認証（PBA）のユーザ名、パスワードおよびドメイン名には、日本語は使用できません。

**「回避策」**

Windows での設定で必ず半角英数字で設定してください。

- プレブート認証（PBA）で、日本語 106/109 キーの入力ができない。

**「回避策」**

パスワードに特殊文字などがある場合には、プリブート画面が表示される前に **Shift** を押し続けることで画面表示が変更され、日本語 106/109 キーの入力が可能となります。

- ” ディスクのクリーンアップ” での ” 古いファイルの圧縮” オプションを実行すると EFS で問題が発生するばいがある。(＃58280)

**「回避策」**

” 古いファイルの圧縮” オプションを実行しないでください。

- 高度の設定 – 証明書の利用で、バージョン 8.5 の ProtectDrive の日本語環境では、それぞれの証明書の値が正しく表示されていませんが、機能的には問題ありません。表示内容は、“名前”、“Smart Card Logon”、“EFS”、“Exchange”、“RSA Encryption” です。

## お問い合わせ先

本製品に関して、ご質問は下記までお問い合わせください。

### 日本（製品のお問い合わせ先）

インターネット <http://jp.safenet-inc.com>  
E メール [jp-sales@safenet-inc.com](mailto:jp-sales@safenet-inc.com)  
電話 (03) 5776-2751

### アメリカ（本社）

インターネット <http://www.safenet-inc.com/>

© Copyright 2009, SafeNet, Inc.  
All rights reserved.  
<http://www.safenet-inc.com>

本書に記載される情報は完全かつ正確であるように最善を期しています。本書の誤りまたは情報の欠落による直接的または間接的損害、または事業の損失に対し、SafeNet, Inc. は責任を負いません。本書に記載されている仕様は、予告なく変更される場合があります。

SafeNet、ProtectDrive は、SafeNet, Inc. の商標または登録商標です。  
本書で言及しているその他すべての製品名は、各社の商標または登録商標です。

2009 年 2 月